調べてみよう！

森ではたらく人リレー



対象	小学校高学年（４～６年生）
目安時間	３０～４０分

私たちが使う紙や木の製品は、森から届くまでにたくさんの人の手を通っています。この教材では、その一つひとつの仕事を調べることで、「製品の裏側にある人の仕事」への想像力を育てます。

進め方

- 導入（5分）：「今日使った紙や、教室の机が、森からどうやって届いたか想像してみよう」と問いかける
- STEP1（5分）：椅子・机・ノートなど、身の回りの木や紙の製品を1つ選ばせる
  （教室にあるものを実際に触らせるとより実感しやすい）
- STEP2～4（20分）：選んだものを軸に、森から届くまでの5つの仕事を調べて書き込む
- STEP5（10分）：一番大変だったと思う仕事とその理由を書き、発表・共有する

声かけ例

- 「切る人だけじゃなくて、その後は誰が運ぶんだろうね？」
- 「森を守るためにチェックする仕事があるのは、どうしてだと思う？」

発展・アレンジのヒント

地域の森林組合や製材所で働く人に、実際にインタビューする課題に発展できます

時間に余裕がある場合は、5つの仕事のうち1つを選んで詳しく調べる個人研究にもアレンジできます

関連する「森の仲間と学ぶFSC講座」

本教材とあわせて、以下の講座記事も参考にできます（先生・保護者向け）。

- 第1回　FSC認証とは？
  https://shitte-erabo.net/fscproducts/study/8624/

- 第6回　FSC認証と「働く人の権利や安全」
  https://shitte-erabo.net/fscproducts/study/11215/

FSC認証は、森を守るだけでなく、そこで働く人たちの安全や生活、地域社会への配慮も基準に含む仕組みです。仕事調べを通して、認証マークの向こうにいる「人」の存在を実感できるようにします。

※本プログラムは個人・教育目的での複製・印刷利用ができます。改変・商用利用はご遠慮ください。

探求学習ワークシート
「森のしごと」シリーズ

しらべてみよう！
森ではたらく人リレー



FSC応援 Project

今日使ったノートやえんぴつ、教室の机やいす。

そのうち1つをえらんで、森から届くまでの道のりをたどってみよう。

STEP1　しらべるものをえらぼう

身の回りにある、木や紙でできているものを1つえらんでみよう。

☐　木のいす

☐　つくえ

☐　ノート

☐　えんぴつ

☐　画用紙・コピー用紙

☐　本

☐　その他（　　）

わたしがしらべるもの：

STEP2　予想してみよう

えらんだものが森から届くまでに、どんな人の手を通ってきたと思う？　思いつくものを3つ以上書いてみよう。

STEP3　仕事をしらべよう

下の5つの仕事について、えらんだものにどう関わっているか調べて書いてみよう。

仕事	えらんだものとの関わり
森林を育てる人	
木を切り出す人	
木を運ぶ人	
木材を製品にするひと	
森を守る仕組みを作る人	

STEP4　つながりを図にしよう

選んだものが森から届くまでの道のりを順番に繋げてみよう

STEP5　まとめ

えらんだものができるまでに、一番大変だったと思う仕事はどれ？　その理由も書いてみよう。

※本プログラムは個人・教育目的での複製・印刷利用ができます。改変・商用利用はご遠慮ください。